

科目名	理学療法総合演習Ⅱ			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
臨床で必須の解剖学、運動学、評価学の基礎を振り返り、疾患から想定される必要な評価との関係性を学ぶ。							
〔授業全体の内容の概要〕							
グループ分けを行い、グループごとに基礎科目の課題を行い、疾患事に必要な基礎知識を深め、評価の列挙と実施を行う。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
疾患から想定される評価の列挙と評価の実施ができるようになる							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション						
2	脳神経の全体像と大脳の構造						
3	大脳の構造と局所機能						
4	大脳の構造と局所機能						
5	高次脳機能障害						
6	大脳辺縁系、大脳基底核						
7	間脳、視床、視床下部						
8	中脳、橋、延髄						
9	中脳、橋、延髄						
10	小脳						
11	血管と支配領域						
12	運動と感覚の伝導路						
13	運動と感覚の伝導路						
14	反射と失調						
15	まとめ確認テスト						
16	中枢疾患の病態と評価（錐体路障害）						
17	中枢疾患の病態と評価（錐体路障害）						
18	中枢疾患の病態と評価（錐体路障害）						
19	中枢疾患の病態と評価（錐体路障害）						
20	中枢疾患の病態と評価（視床、感覚障害）						
21	中枢疾患の病態と評価（視床、感覚障害）						
22	中枢疾患の病態と評価（視床、感覚障害）						
23	中枢疾患の病態と評価（視床、感覚障害）						
24	小脳失調の病態と評価						
25	小脳失調の病態と評価						
26	小脳失調の病態と評価						
27	小脳失調の病態と評価						
28	まとめ						
29	まとめ						
30	まとめ						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
病気がみえる vol.7 脳・神経				メディックメディア			
標準理学療法学・作業療法学 解剖学		野村 嶺		医学書院			
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】							
中間試験、本試験で評価する							